

海が育てた自然と歴史のまち

鹿島

まち歩き

kashima
guidemap



ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財

佐陀神能

佐陀神能は神事的な舞の「七座」、祝言としての「式三番」、神話や縁起を素材とした演劇舞「神能」の三部で構成され、それまでの神楽に幽玄な能の所作を取り入れた芸術性の高さが特徴です。

【佐陀神能の御由緒】

佐太神社「御座祭」の当日から翌日にかけて行われる神楽で、出雲神楽の源流と称されています。慶長の頃、同社の惣主祝宮川兵部少輔秀行が京都で能楽の所作を学んで帰り創り上げたものと伝えられ、その伝統を今日に継承しています。

神能演目

神能の演目には、佐太神社の縁起を語る「大社」をはじめ、「真切愛」「八幡」「恵比須」「武蔵権」「警戸」「日本武」「三韓」「八重垣」の九曲と廃曲となっている「蔵島」「住吉」「荒神」の三曲があります。



御座替神事

本殿三社以下、摂社末社の御神座の奠座を敷き替える神事です。古来より「佐陀の秘儀」と言われ、佐太神社の数ある祭事の中で最も重儀とされるもので、9月24日に執り行われます。その際、本殿の奠座を清める神事舞を「七座神事」と呼びます。



「大社」



「式三番」



「日本武」

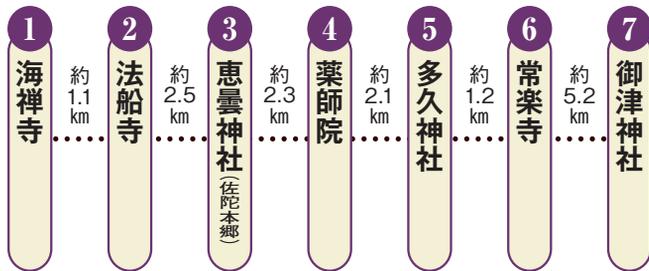


「恵比須」

構成がシテ、ワキ、ツレ、トモの役立ちになり、詞の間を地謡でつなぎ、囃子として笛、小鼓、大鼓、太鼓を主とする能形式をとっており、この地方独特のものとなっています。



神社仏閣をめぐる



1 海禅寺

松江市鹿島町古浦 かいぜんじ

もとは枕木山にある華藏寺の末社として天台宗に属していましたが、無住となり、その後奥谷町の万寿寺の和尚が隠居後布教のために古浦を訪れ禅寺として起こし、今日に至りました。境内には猿毛地藏と呼ばれる石像があります。



2 法船寺

松江市鹿島町惠曇 ほうせんじ

京都から持ち帰られた仏教法典『大般若教』全600巻が寺宝として収蔵されています。境内には享保年間(1716~1735)建立といわれる観音堂、円通閣があり、33体の観音像が安置され、西国33ヵ所霊場を象徴しています。



3 惠曇神社

松江市鹿島町佐陀本郷 えともじんじゃ

境内に3個の巨石があり、この石は磐坂日子命の腰掛石といわれています。またこの石は「座王さん」(祭神ササノオ)と呼ばれています。惠曇にも同名の神社があります。



4 薬師院

松江市鹿島町名分 やくしんいん

伝説によると、行基菩薩がこの地に薬師如来等を彫刻し開眼したとあります。松江市指定美術工芸品「紙本著色山越阿弥陀図」「絹本著色不動明王二童子像」が収蔵されています。



5 多久神社

松江市鹿島町南講武 たくじんじゃ

県道沿いに大きな鳥居が目を引く大社造の大宮。『出雲国風土記』には多久社と記されています。3月11日には新年祭、6月30日には大祓祭、10月11日には例大祭、12月11日には新嘗祭が行なわれます。



6 常楽寺

松江市鹿島町上講武 じょうらくじ

上講武の小高い地に立つ臨済宗のお寺。かつて円福寺と称する寺院がありましたが、常楽寺建立後その円福寺堂が境内に移されたため、常楽寺の山号は円福寺。晩秋には大きなイチョウの木が黄色く色づき立派な境内と合わさり人目を引きま。



7 御津神社

松江市鹿島町御津 みつじんじゃ

御津神社には、海上の岩山に座していたことから小島(御島)明神のご神体が合祀されています。そのご神体として祀られる鯨の耳石、旅行安全の透明な小石など秘蔵の霊石があるとされています。



歴史

史ゆかりの地をめぐる



- 1 佐太神社
約 0.1 km
- 2 鹿島歴史民俗資料館
約 0.3 km
- 3 清原太兵衛翁銅像
約 3.5 km
- 4 堀部史跡公園
約 5.8 km
- 5 魔納荒神(古浦)
約 2.9 km
- 6 禅慶院
約 4.0 km (参道入口まで)
- 7 片句大師堂

4 堀部史跡公園

松江市鹿島町北講武

ほりべしせきこうえん

弥生時代前期、この地で最初に稲作を行った開拓者たちの集団墓地と考えられる遺跡(県指定史跡)をはじめ、古墳時代から中世にかけての遺跡(市指定史跡)を擁する公園。ここから見渡す講武川や田園風景は心を和ませます。
■駐車場/10台



1 佐太神社

松江市鹿島町佐陀宮内

さだじんじゃ

詳しくは「佐太神社」をご参照ください。

2 鹿島歴史民俗資料館

松江市鹿島町名分

かしまれきしみんぞくしりょうかん

佐太神社に隣接。国史跡佐太講武貝塚、弥生時代前期の集団墓として知られる古浦砂丘遺跡・堀部第1遺跡の出土品など多くの埋蔵文化財を収蔵、展示しています。中国の文豪魯迅に師事した中国文学者増田渉の業績や佐太神社の名宝も紹介しています。



- TEL0852-82-2797 ■開館時間/9:00~17:00(入館は16:30迄)
- 休館日/月曜日(祝祭日の場合は翌火曜日)・12月28日~1月4日
- 駐車場/15台

3 清原太兵衛翁銅像

松江市鹿島町名分

きよはらたへいおうどうぞう

江戸中期、水害や飢饉からこの地を守るとともに発展の礎となった「佐陀川開削」の偉業を成した「松江藩士・清原太兵衛」の銅像が佐陀川を見守るように建っています。佐陀川は宍道湖と日本海を結ぶ運河で、現在はプレジャーボートが係留できるマリナーも整備されています。



- 駐車場/5台

5 魔納荒神

松江市鹿島町古浦

まのうこうじん

古浦集落の西の浜にあり、地元では探し物が見つからないと、この荒神に参詣すると見つかることされています。古浦地内の荒神は年1回、安全方策を祈って魔よけの祈禱が成相寺(荘成町)により行われています。古浦地区では3地区が交代で宿を開き、藁蛇など祭の準備が行われています。



6 禅慶院

松江市鹿島町手結

ぜんけいいん

江戸時代には北前船の風待ち港であった手結浦の集落にある曹洞宗の寺。本堂の内部は総檜で芸術性の高いお寺。裏山には鳥取藩勤皇の志士詫間樊六らの5名の墓があります。またその遺物(刀、脇差、陣羽織ほか)を保管する記念館「幽玄閣」があります。



7 片句大師堂

松江市鹿島町片句

かたくだいしどう

境内には新四国八十八ヵ所の巡礼路が整備されています。毎月21日に法要が行われており、御詠歌が奉納されます。参道入口は複数ありますが、島根原子力館の手前から入る参道からは日本海が一望できます。



鹿島の魅力をめぐる



- 1 朝日寺・朝日山 約0.6km
石段登山口から
- 2 古浦海岸 約4.9km
- 3 島根原子力館 約8.4km
- 4 御島 約2.9km
- 5 鹿島多久の湯 約1.0km
- 6 ファミリーマートAコープこうぶ店 約2.4km
- 7 佐陀乃だんだん家

1 朝日寺・朝日山

松江市鹿島町佐陀本郷

あさひじ・あさひさん

朝日山は『出雲国風土記』に登場する神名火山のひとつ。山頂には奈良時代の僧・行基開山と伝える朝日寺があります。古浦から登山道が整備されており、約1時間の道のり。山頂展望台からの眺望はすばらしく、日本海と宍道湖を一望におさめることができます。



2 古浦海岸

松江市鹿島町古浦

こうらいがいん

朝日山の麓に広がる緑に囲まれた海岸。青く美しい海と白い浜辺には海水浴場が整備されています。松江市の中心部から車で15分と近く、夏には多くの海水浴客で賑わいます。その浜に沈む夕日はとても美しく、初夏にはハマヒルガオが浜辺を彩ります。



3 島根原子力館

松江市鹿島町佐陀本郷

しまねげんしりょくかん

日本海が一望できる海拔150メートルの高台にあり、原子力発電の仕組みを紹介するPR館です。春は、つつじや桜並木が美しい。

■TEL0852-82-3055 ■見学無料
■営業時間/9:00~17:00 ■休館日/第2火曜日・年末年始 ■駐車場/60台



4 御島

松江市鹿島町御津

おしま

御津湾沖にあり、夕日や月とともに浮かぶその眺めは、山陰十景の1位に讃えられました。島の石段が上がったところに小島明神の祠があり、御神体は御津神社に合祀されています。旅の神様・航路平安の神様で、古くは松江藩の参勤交代のお侍が祈願に詣でたと伝えられます。



5 鹿島多久の湯

松江市鹿島町北講武

かしまたくのゆ

西に朝日山、東に大平山を眺めながら入浴できる日帰り温泉施設。館内はバリアフリー構造で、鹿島の産直品を扱う売店もあります。

■TEL0852-82-9300 ■料金/大人410円
■営業時間/10:00~21:00(受付20:30迄)
■休館日/木曜日 ■駐車場/60台



6 ファミリーマートAコープこうぶ店

松江市鹿島町南講武

ふあみりーまーとえーこーぷこうぶてん

コンビニエンスストア機能のほか、鹿島町の野菜、花、味噌などの農産加工品や干物などの水産加工品などを取り揃え、地域の方々が気軽に交流できる場として期待されています。

■TEL0852-82-9077 ■営業時間/6:00~22:00
■店休日/年中無休 ■駐車場/20台以上



7 佐陀乃だんだん家

松江市鹿島町佐陀宮内

さだのだんだんや

佐太神社の鳥居の近くにある喫茶店で、看板メニューのぜんざいは、鯛の出し汁に餡入りの餅が入っている珍しいものです。

■TEL0852-82-1104 ■営業時間/10:00~16:00
■店休日/年中無休 ■駐車場/佐太神社駐車場利用可



海が育てた自然と歴史のまちを歩いてみよう。

鹿島の町は、山と海、野と川的情趣あふれるところで、町の北と西は日本海に面し、島根県東部最大の恵曇漁港と古浦砂丘をひかえます。町の中央は、宍道湖と日本海を結ぶ運河佐陀川と大平山を源にする講武川が貫流し、流域には豊かな田園が開けています。

島根半島のほぼ中央に位置する鹿島地域の歴史は古く、「出雲国風土記」の国引き神話に登場する「狹田の国」に重なるなど、多くの遺跡や出土品からは、縄文時代にさかのぼる悠遠の歴史が跡づけられるところです。

こうした豊かな自然や歴史に培われてきた鹿島の町は、磯や海浜で遊び、山野を散策するもよし、有形・無形の文化財に触れその歴史を探るもよし、また温泉でゆったりとした時を過ごすもよし。この「鹿島まち歩き」が思い思いのまち歩きに役立つことを願っています。

島根半島・宍道湖中海ジオパーク

古代より松江・出雲地域に暮らす人々は、数千万年前にアジア大陸から切り離され、度重なる地殻変動によって出来た大地と向き合い、特徴的な歴史や文化を生み出してきました。鹿島町にも、化石が眠る古浦海岸や、波食棚が広がる御津海岸など見どころがたっぷりです。あなたも数千年前から続く大地の移り変わりと、そこに暮らす人々の営みに想いを馳せてみませんか。



古浦海岸の貝化石出土地

御津海岸の波食棚



鹿島よやまばなし

● **清原太兵衛と佐陀川**
清原太兵衛(1711~1787)は江戸中期の人物で、佐陀川を開削したことで知られています。農家に生まれましたが、松江藩士に仕えた後、普請方吟味役を兼ねて武士として取り立てられました。当時毎年のように宍道湖が増水し、沿岸に被害が発生。その解決のために日本海に向けて運河を開削することが必要でした。佐陀川開削は太兵衛の設計に基づき、全長12キロ、幅36メートルの規模で行われました。工事は困難を極め、太兵衛は陣頭指揮をとり、76歳で病没。その2か月後に佐陀川で盛大な川開きが行われました。佐陀川開削により宍道湖の洪水が緩和され、新たな耕地が開かれました。現在ではマリーナも整備されています。鹿島町では清原太兵衛顕彰会も発足し、今も偉業をたたえ語り継いでいます。

● **増田渉と魯迅**
増田渉は1903年、片句の内科医の長男として生まれました。中国文学に親しみ、中国小説の下訳をするようになり、東京大学1年の時、すでに中国小説の訳書や小説家佐藤春夫の序文つきで出版。縁あって上海で近代中国の代表的文学者・魯迅から対話の機会を受け、帰国の際には別れ惜しむ演説を贈られました。この演説は後に、日中平和友好条約締結の際にエピソードとして引用されるほどでした。帰国後、魯迅と増田の文通は片句と上海の間で魯迅がなくなるまで続けられ、鹿島町が話題にのぼる書籍もありました。鹿島歴史民俗資料館には、魯迅から贈られた漢詩や書籍が展示。また、鹿島文化ホール前庭には顕彰碑があります。

● **カンカン部隊**
大正から昭和にかけて、恵曇の女性による海産物の行商が盛んに行われ、生活を支えていました。昭和40年代になると、行商人たちを乗せた行商人専用の路線バスが運行されるようになり、プリキ缶を背負う女性たちの姿が、松江市内路上に見られるようになりました。それが「カンカン部隊」と言われるようになった理由です。行商人たちはお得意さんの勝手口を回り、会話を交わしながら商売をしていました。こうした商売のやり取りによって得られた情報や珍しい話は、鹿島の文化の向上や近代化に大きな役割を果たしていました。

● **藤布**
上講武方面では、山野に自生する藤のつるを糸にして綱や布に織っていました。とても丈夫できりや炭焼きなどの山仕事に重宝するも、薪しものをする敷き布から魚網などあらゆるものに利用されていました。

● **製塩**
明徳2年(1391年)には、恵曇で製塩が行われていたという記録があります。次第に規模が大きくなり、文化3年(1836年)の記録によると古浦の8割が塩作りに従事していました。塩田用塩と称し、釜に上納されていました。製塩方法は天日乾燥と火力乾燥の両方で、古浦樺手の山を塩木山と称し、燃しと、藩がこの保護に当たっていたこともありました。

● **鹿島の特産品**
海と山に囲まれた自然のあふれる鹿島町では、日本海の新鮮な魚介類やその水産加工品をはじめ、お茶や果実などの農産加工品、味噌やポン酢などの調味料、お菓子など様々な特産品が揃っています。特に、新鮮なウルメいわしの丸干しや「片句わかめ」と呼ばれる板わかめは、素材の味わいがあり、鹿島町ならではのものです。お土産には最適です。

また、わかめの茎やかぶがぎざりしり詰まった「美味噌」[めかぶドレッシング]や地元産の大豆、お茶などを使った「使ったクッキー」も人気を集めています。

● **販売場所**
● 鹿島多久の湯 TEL0852-82-9300
● 入道庵 TEL0852-82-0067
● シレジャー鹿島 TEL0852-82-3040
● ファミリーマートAコープこうぶ店 TEL0852-82-9077



1 佐太講武員塚 松江島町島名分 日本海側では珍しい縄文時代前期から中期の貝塚で、国の史跡に指定されています。「出雲国風土記」に記述される「佐太海」の原形とされています。

2 古浦砂丘遺跡 松江島町古浦 弥生時代前期を中心とした墓跡遺跡で、山陰の弥生文化研究の貴重な資料として県の有形文化財に指定されています。

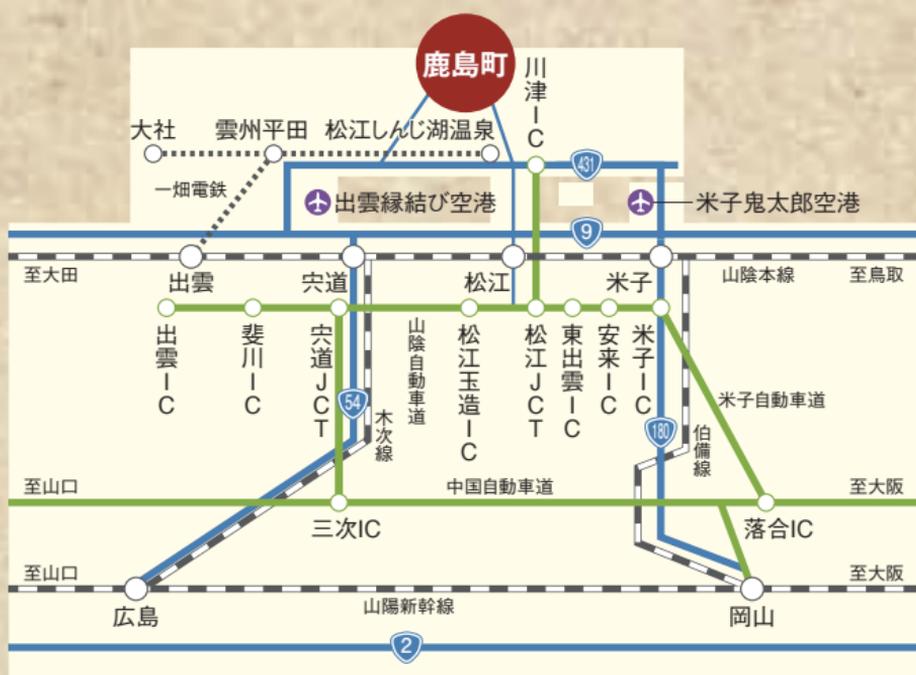
3 志谷奥遺跡 松江島町佐陀川 昭和48年に銅剣6本と銅鐔2個が発見され、発掘調査が行われました。出雲地方における初の銅鐔出土遺跡であるとともに、銅剣と銅鐔が共に出土した初の遺跡です。

4 講武岩屋古墳 松江島町北講武 古墳時代後期の横穴式石室を持つ古墳。本来は石室を覆う墳丘があったと考えられますが、現在は石室が露出しています。石室式石室と呼ばれる出雲地方に特徴的に分布する石室が、きれいな形で残されています。



鹿島餅(鹿島餅)

A C C E S S



鉄道

- JR松江駅 TEL0852-21-3219
- 一畑電車松江しんじ湖温泉駅 TEL0852-21-2429

バス

- 一畑バス松江営業所 TEL0852-20-5205

タクシー

- 恵曇タクシー TEL0852-82-1230
- 鹿島タクシー TEL0852-82-1515

飛行機

- 出雲縁結び空港 (JAL・JAC) TEL0853-72-7500
- 米子鬼太郎空港 (ANA) TEL0859-45-6121

● 発行 ●

鹿島地区わがまち自慢発掘プロジェクト実行委員会

〈お問い合わせ先〉

松江市鹿島公民館 TEL0852-55-5716

※「鹿島まち歩き」内の記事は「鹿島町誌」「新編鹿島町誌」を参考としています。

2022年3月 改訂